

2021年3月18日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、「飯野海運」が発行する「グリーンボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、飯野海運株式会社が発行する「グリーンボンド」（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券の調達資金は、当社が参画する新橋田村町地区市街再開発事業で建設中の日比谷フォートタワー事業費に充当されます。

<概要>

発行体：飯野海運株式会社

名称：グリーンボンド（R&I格付：BBB、JCR格付け：BBB+）

※JCRよりグリーンボンド予備評価として最上位の「Green 1」を取得

発行総額：50億円

償還期間：3年

資金使途：「太陽光パネルの設置」「屋上緑化」「低蓄熱型舗装」「日光による放射熱を低減するLoe-Eガラスの採用」「庇による直射日光の遮蔽」など、環境面も配慮した施設を計画する日比谷フォートタワー事業費へ充当

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(※)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。

太陽生命は、これからも責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

以上

^(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

